

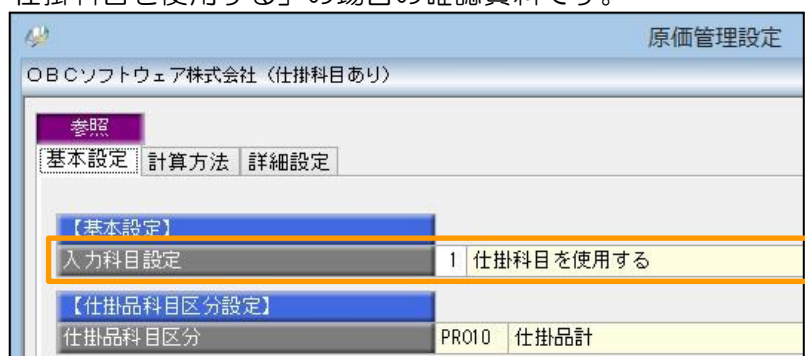
# 会計帳票と原価帳票の金額が一致しない場合 の確認方法（製造原価科目の確認）



この資料では、

**「製造原価科目において、会計帳票と原価帳票の金額が一致しない」  
場合の金額の確認方法**について記載しています。

なお、[導入処理]-[会計期間設定]-[原価管理設定]メニューの「入力科目設定」の設定が  
「1：仕掛科目を使用する」の場合の確認資料です。



原価管理設定	
OBCソフトウェア株式会社（仕掛科目あり）	
参照	
基本設定	計算方法
【基本設定】	
入力科目設定	1 仕掛科目を使用する
【仕掛品科目区分設定】	
仕掛品科目区分	PRO10 仕掛品計

※本手順書の画面イメージは『勘定奉行[個別原価管理編] / 10シリーズ』のものです。

画面イメージはご利用の製品、バージョンにより異なる場合があります。

ここでは、合計残高試算表の「当期製品製造原価」の残高と、プロジェクト一覧表の「原価計」の合計金額が不一致の場合を例にとって説明します。

合計残高試算表

〇ＢＣソフトウェア株式会社（仕掛科目あり） 会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日

集計期間 自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日 税処理 税抜 (単位： 円)

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 仕掛品明細書

コード	科目名	繰越残高	借方	貸方	残高	構成比
654	保険料	0	4,240,000	0	4,240,000	3.8
659	地代家賃	0	4,680,000	0	4,680,000	4.2
665	交際費	0	3,181,688	0	3,181,688	2.9
666	減価償却費	0	8,084,000	0	8,084,000	7.3
667	支払リース料	0	220,908	0	220,908	0.2
678	雑費	0	487,976	0	487,976	0.4
680	外注加工費	0	35,369,214	0	35,369,214	31.9
C1310	外注加工費	0	35,369,214	0	35,369,214	31.9
C1300	製造経費	0	65,018,843	0	65,018,843	58.7
C1010	当期総製造費用	0	110,747,160	0	110,747,160	100.0
C1400	棚卸調整	0	0	0	0	0.0
C1000	当期製品製造原価	0	110,747,160	0	110,747,160	100.0

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 F4 F5 F6 ジャンプ F7 F8 再集計 F9 単位設定 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

プロジェクト一覧表

〇ＢＣソフトウェア株式会社（仕掛科目あり） 会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日

集計期間 自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日 税処理 税抜 集計方法 発生 (単位： 円)

コード	プロジェクト名	予定期間（終了）	労務費	経費	外注費	原価計
0000000009	顧客管理システム	2017年 3月15日	326,865	4,542,363	2,819,448	4,869,228
0000000010	POSシステム	2017年 3月10日	0	1,306,747	777,778	1,662,872
0000000011	OA用ロボット管理システム	2017年 3月31日	578,555	2,447,137	1,458,335	3,025,692
0000000012	商品管理システム	2016年10月31日	2,118,858	3,573,313	2,021,855	5,691,971
0000000013	販売管理システム	2017年 3月10日	1,115,842	4,200,854	2,333,337	5,316,696
0000000014	在庫管理システム	2016年12月25日	1,764,099	3,336,477	1,905,558	5,100,576
0000000015	ラベル作成ソフト	2017年 3月10日	0	451,441	194,445	679,972
0000000016	EDIシステム	2017年 3月31日	1,139,600	4,270,934	2,518,522	5,410,534
0000000017	警備システム	2017年 8月10日	0	1,362,469	777,778	1,682,908
0000000018	コンピュータリモート管理システム	2016年12月10日	637,902	3,066,068	1,847,223	3,703,970
0000000019	CADシステム	2016年 7月31日	2,667,241	3,879,662	1,944,445	3,566,903
0000000020	土木設計システム	2017年 1月31日	1,189,740	2,641,105	1,462,865	3,830,845
0000000021	資産管理システム	2017年 3月31日	1,547,232	2,227,993	972,225	3,775,225
0000000022	手形管理システム	2017年 3月10日	5,267,680	4,409,390	2,333,337	9,377,070
B1	研究開発用プロジェクト	2017年 3月31日	0	220,908	0	20,908
	【完成合計】		44,527,600	64,636,843	35,369,214	110,367,160

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 F4 F5 F6 ジャンプ F7 情報 F8 再集計 F9 単位設定 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

次ページ以降のStep1～5で、金額が不一致になっている原因を追究、修正します。

## Step1. 合計残高試算表とプロジェクト一覧表の条件設定を確認します。

### ● 合計残高試算表

③ サブマスター（サブプロジェクト）が指定されていないか確認します。

### ● プロジェクト一覧表

The screenshot shows a software window with tabs: 基本条件, 詳細条件1, 詳細条件2, and サブプロジェクト. The 詳細条件2 tab is active. It contains the following elements:

- A checkbox labeled 原価管理項目区分コードを表示する.
- A section titled プロジェクト出力設定 containing three radio buttons:
  - Selected: 原価管理項目区分に金額があるプロジェクトだけ出力する
  - Unselected: 入金残高があるプロジェクトだけ出力する
  - Unselected: すべてのプロジェクトを出力する
- A checkbox labeled コードが[0]のプロジェクトを表示する.
- A section titled 単位設定 containing a unit dropdown menu set to 円 and a 端数処理 section with a button labeled 切り捨て.

Two callouts are present:

- Callout ⑤ points to the selected radio button in the プロジェクト出力設定 section, stating: プロジェクト出力設定は「原価管理項目区分に金額があるプロジェクトだけ出力する」を選択します。
- Callout ⑥ points to the checkbox labeled コードが[0]のプロジェクトを表示する, stating: 「コードが[0]のプロジェクトを表示する」のチェックをはずします。

⑦ サブマスター(サブプロジェクト)が指定されていないか確認します。

上記の条件設定で、合計残高試算表の「当期製品製造原価」の残高と、プロジェクト一覧表の「原価計」の合計金額を比較します。

金額が一致しない場合は Step2 へ進みます。

## Step2. プロジェクトが指定されていない製造原価科目の金額を確認します。

Step1で金額が一致しない場合は、プロジェクトが指定されていない製造原価科目の金額を確認します。

プロジェクトが指定されていない製造原価科目の金額がある場合は、会計帳票と原価帳票で金額が一致しません。

### ● 合計残高試算表

合計残高試算表 - 条

基本条件 詳細条件 プロジェクト

☒ プロジェクト・区分を指定する

対象指定

☒ プロジェクト

☐ プロジェクト区分

000000000000 その他

☐ 区分種別を表示する

「0:その他」プロジェクトを指定します。

合計残高試算表

〇ＢＣソフトウェア株式会社（仕掛科目あり）

会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日

集計期間 自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日

プロジェクト 000000000000 その他

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 仕掛品明細書

コード	科目名	繰越残高	借方	貸方	残高	構成比
C1200	労務費	0	0	0	0	0.0
854	保険料	0	380,000	0	380,000	100.0
C1310	外注加工費	0	0	0	0	0.0
C1300	製造経費	0				
C1010	当期総製造費用	0				

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 F4 F5 F6 ジャンプ

集計後、製造原価科目に金額があるか確認します。  
金額がない場合は、Step3に進みます。

金額がある場合は、仕訳伝票登録時にプロジェクトが指定されていない仕訳伝票が存在します。  
[元帳]メニュー → [仕訳処理]メニューの順にジャンプして、該当の仕訳を修正します。

元帳

〇ＢＣソフトウェア株式会社（仕掛科目あり）

会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日

集計期間 自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日

勘定科目 854 保険料

プロジェクト 000000000000 その他

伝票日付 (相手マスター) (相手マスター)

伝票No. 勘定科目 / 補助科目

繰越金額

伝票日付	伝票No.	勘定科目 / 補助科目	借方	貸方	残高
		前月繰越			0
16/08/31	000063	554 仕掛保険料	380,000		380,000
		8月計	380,000	0	
		前月繰越			380,000

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 付箋 F4 F5 F6 ジャンプ F7 F8 再集計 F9 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

切替 ファンクション切替 ⇒ [Ctrl]キー



↓

「F9: 修正」ボタンをクリックして、プロジェクトを指定します。

【合計残高試算表】メニューで「F8: 再集計」をクリックして、当期製品製造原価に金額がないことを確認します。

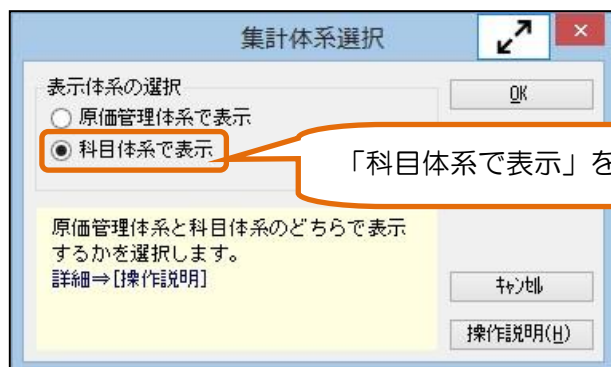
合計残高試算表の「当期製品製造原価」の残高と、プロジェクト一覧表の「原価計」の合計金額を比較します。

合計残高試算表とプロジェクト一覧表で金額が一致しない場合は、Step3に進みます。

## Step 3. 完成プロジェクトに仕掛科目の金額が残っていないか確認します

すでに完成しているプロジェクトに、仕掛科目の金額が残っている場合は、会計帳票と原価帳票で金額が一致しません。[原価帳票]-[プロジェクト別原価帳票]-[プロジェクト原価集計表]メニューで完成プロジェクトに仕掛科目の金額が残っていないか確認します。

### ● プロジェクト原価集計表



集計体系選択

表示体系の選択

☐ 原価管理体系で表示

☒ 科目体系で表示

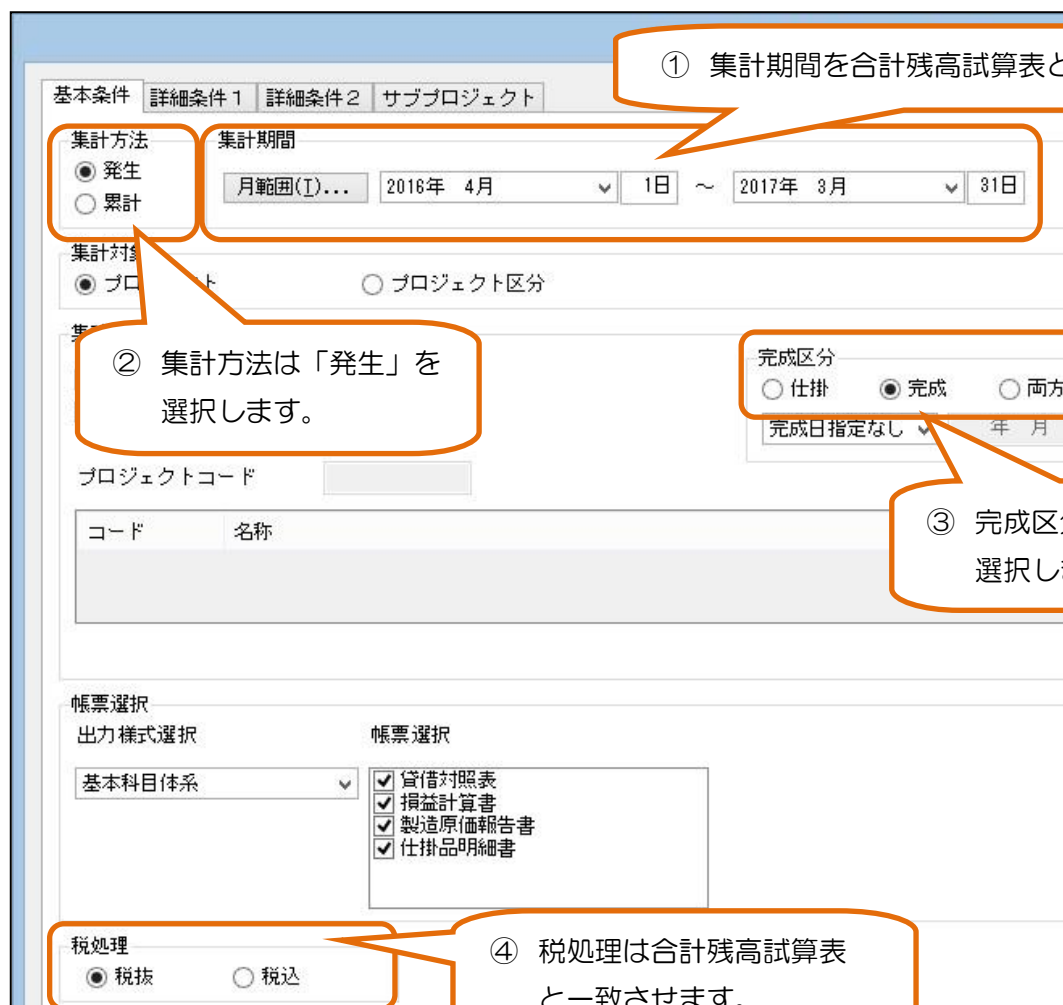
原価管理体系と科目体系のどちらで表示するかを選択します。  
詳細⇒[操作説明]

OK

キャンセル

操作説明(H)

「科目体系で表示」を選択します。



基本条件 詳細条件1 詳細条件2 サブプロジェクト

集計方法

☒ 発生

☐ 累計

集計期間

月範囲(I)... 2016年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日

① 集計期間を合計残高試算表と一致させます。

集計対象

☒ プロジェクト

☐ プロジェクト区分

② 集計方法は「発生」を選択します。

完成区分

☐ 仕掛

☒ 完成

☐ 両方

完成日指定なし

③ 完成区分は「完成」を選択します。

プロジェクトコード

コード	名称
-----	----

帳票選択

出力様式選択

基本科目体系

帳票選択

☒ 貸借対照表

☒ 損益計算書

☒ 製造原価報告書

☒ 仕掛品明細書

税処理

☒ 税抜

☐ 税込

④ 税処理は合計残高試算表と一致させます。

集計後、完成プロジェクトに仕掛科目の金額が残っているか確認します。  
金額が残っていない場合は、Step4に進みます。

金額が残っている場合は、  
[元帳]メニュー → [仕訳処理]メニューの順にジャンプして、仕訳明細を確認します。

以下のいずれかの方法で、対応します。

- ・「F9：修正」ボタンをクリックして、仕掛科目を製造原価科目に変更する。
- ・[振替処理]-[完成振替]内のメニューで仕掛科目を製造原価科目に振り替える。

**Screen 1: Summary Table**

コード	科目名	合計	経費計算システム
565	仕掛交際費	62,963	62,963
PR010	仕掛品計	62,963	62,963

**Screen 2: Detailed Ledger Entry**

伝票日付	(相手マスター)	(相手マスター)	借方	貸方	残高
16/04/29	110 当座預金	001 東都中央銀行本店	62,963		62,963
000071					
	4月計		62,963	0	
	前月繰越				62,963

**Screen 3: Journal Entry Processing (仕訳処理)**

行	部門 / 勘定科	借方	貸方
102	第二開発部		
565	仕掛交際費	68,000	
		(5,037)	
00000014	京都システム株式会社		
00000000030	経費計算システム		68,000
0001	調査・提案		
借方合計		68,000	
貸方合計			68,000
貸借差額		0	

合計残高試算表の「当期製品製造原価」の残高と、プロジェクト一覧表の「原価計」の合計金額を比較します。

合計残高試算表とプロジェクト一覧表で金額が一致しない場合は、Step4に進みます。



## Step4. 仕掛プロジェクトに製造原価科目の金額が計上されていないか確認します

仕掛プロジェクトに、製造原価科目の金額が計上されている場合は、会計帳票と原価帳票で金額が一致しません。[原価帳票]-[プロジェクト別原価帳票]-[プロジェクト原価集計表]メニューで仕掛プロジェクトに製造原価科目の金額が計上されていないか確認します。

### ● プロジェクト原価集計表

集計体系選択

表示体系の選択

☐ 原価管理体系で表示

☒ 科目体系で表示

OK

原価管理体系と科目体系のどちらで表示するかを選択します。  
詳細⇒[操作説明]

キャンセル

操作説明(H)

基本条件 詳細条件1 詳細条件2 サブプロジェクト

集計方法

☒ 発生

☐ 累計

集計期間

月範囲(I)... 2016年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日

集計対象

☒ プロジェクト

☐ プロジェクト区分

完成区分

☒ 仕掛

☐ 完成

☐ 両方

プロジェクトコード

コード 名称

帳票選択

出力様式選択

基本科目体系

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

仕掛品明細書

税処理

☒ 税抜

☐ 税込

OB Cソフトウェア株式会社 (仕掛科目あり)

集計期間 自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 仕掛品明細書

コード	科目名	合計	投資信託ソフト	第一開発部門間接費配賦管	第二開発部門間接費配賦管
651	通信費	50,000	50,000	0	0
C1310	外注加工費	0	0	0	0
C1300	製造経費	50,000	50,000	0	0
C1010	当期総製造費用	50,000			
C1400	棚卸調整	0			
C1000	当期製品製造原価	50,000			

[F1] 操作説明 [F2] 印刷等 [F3] [F4] [F5] [F6] ジャンプ [F7] 再集計 [F8] 単位設定 [F9] 条件設定 [F10] 閉じる

集計後、仕掛プロジェクトに製造原価科目の金額が計上されているか確認します。  
金額が計上されていない場合は、Step4に進みます。

金額が計上されている場合は、  
[元帳]メニュー → [仕訳処理]メニューの順にジャンプして、仕訳明細を確認します。

OB Cソフトウェア株式会社 (仕掛科目あり)

会計期間: 2016年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日

集計期間 自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日

勘定科目 651 通信費

プロジェクト 00000000055 投資信託ソフト

伝票日付 (相手マスター) (相手マスター)

伝票No. 勘定科目 / 補助科目

繰越金額

伝票日付	勘定科目 / 補助科目	借方	貸方	残高
16/08/31	110 当座預金 001 東都中央銀行本店	50,000		50,000
000064	8.0%			
	8月計	50,000	0	
	前月繰越			

[F1] 操作説明 [F2] 印刷等 [F3] 付箋 [F4] 前科目 [F5] 次科目 [F6] ジャンプ [F7] [F8] 再集計 [F9] [F10] 条件設定 [F11] [F12] 閉じる

切替 ファンクション切替 ⇒ [Ctrl]キー

OB Cソフトウェア株式会社 (仕掛科目あり)

会計期間: 2016年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票

伝票日付 16年 8月 31日

伝票No. 000064

伝票件数 310

明細件数 5532

行	借方	金額	貸方	金額	摘要
011	札幌支店				
651	通信費		54,000		
	00000000055 投資信託ソフト				
	借方合計	54,000	貸方合計	54,000	
			貸借差額	0	

[F1] 操作説明 [F2] 伝票発行 [F3] 付箋 [F4] [F5] [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 反対仕訳 [F9] 修正 [F10] [F11] [F12] 閉じる

切替 ←ここをクリック、または[Ctrl]キーを押すと、Windowsファンクションの表示が切り替わります。

「F9: 修正」ボタンをクリックして、  
製造原価科目を仕掛科目に変更します。

合計残高試算表の「当期製品製造原価」の残高と、プロジェクト一覧表の「原価計」の合計金額を比較します。  
合計残高試算表とプロジェクト一覧表で金額が一致しない場合は、Step5に進みます。

## Step 5. その他の確認

Step 4 までで金額が一致しない場合、以下の内容もご確認ください。

- 前期末時点で、会計帳票と原価帳票の金額が一致している。
- [導入処理]-[残高入力]-[導入前金額入力]-[導入前実績金額入力]メニューで、導入前実績金額が正しく入力されている。
- [導入処理]-[原価管理体系登録]-[原価管理項目登録]メニューで、原価管理項目が正しく設定されている。
- [導入処理]-[プロジェクト関連登録]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニューで、進行基準のプロジェクトが登録されていない。
- [導入処理]-[プロジェクト関連登録]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニューで、プロジェクトの完成日が正しく設定されている。

以 上